

2024 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻

外国語試験問題〔英語〕（一般用）

試験日：2024 年 2 月 5 日（月）

試験時間：9 時 30 分～10 時 30 分

【注意事項】

1. 英語圏言語文化専修志願者（留学生を含む）は、この問題を選択することができません。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。
3. 答案用紙は問題番号①・②のそれぞれに用意されています。用紙を間違えずに解答を記入すること。

1 次の英文を読み、下線部 (1)、(2) を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Adapted from Gaia Vince, *Nomad Century: How
Climate Migration Will Reshape Our World*, 2022)

2 次の英文を読み、下線部（1）、（2）を和訳しなさい。（*を付した語には、

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(Adapted from Michael Waters, “Where Gender-Neutral
Pronouns Come From,” *The Atlantic*, 2021)

<注> sacrilege : 冒瀆、瀆神行為

2024 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻

外国語試験問題 [英語]（外国人留学生用）

試験日：2024 年 2 月 5 日（月）

試験時間：9 時 30 分～10 時 30 分

【注意事項】

1. 英語圏言語文化専修志願者（留学生を含む）は、この問題を選択することができません。
2. 解答はすべて答案用紙に記入すること。
3. 答案用紙は PART ONE と PART TWO のそれぞれに用意されています。用紙を間違えずに解答を記入すること。

2024 年度大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程
比較社会文化学専攻
外国人留学生入学試験問題 英語

PART ONE Read the following passage and answer the questions in English on the answer sheet.

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(Adapted from Yomi Kazeem, "These are the Nigerian English words added to the Oxford Dictionary", *Quartz*, 2020)

I. For questions (1)-(10), choose the most appropriate word, and write that word on the answer sheet.

- | | | |
|------|-----------------------------|-------------------------------|
| (1) | adopted
believed | approached
intended |
| (2) | condemnation
contraption | consternation
contribution |
| (3) | expelling
experiencing | expanding
explaining |
| (4) | failed
recent | internal
valid |
| (5) | recognized
reorganized | relegated
restored |
| (6) | celebration
iteration | elaboration
permission |
| (7) | elate
oblige | explain
originate |
| (8) | alternative
evolution | application
implementation |
| (9) | incorporating
insulting | incurring
intreating |
| (10) | decreasing
depending | delighting
depleting |

II. Answer the following questions in your own words in English on the answer sheet.

- (1) What are the three sources of Nigerian English words mentioned in the passage?
- (2) Why might Nigerian English not be accepted in its home country?

PART TWO Discuss the following statement in an English essay of about 250 words:
Language naturally evolves, and language change cannot be controlled or directed.

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻

（一般入試・外国人留学生入試）

（共通外国語試験・中国語）

試験日： 2024年2月5日(月)

試験時間： 09時30分～10時30分

【注意事項】

1. 監督者の「はじめ」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙に問1、問2などの番号を記入して解答すること。

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(戴涛〈余香〉《2022年中国微型小说精选》より一部改変して用いる)

注1) 居住地区、団地 注2) ネオンサイン

- 問1. { ア }に入るものとして、次の語をすべて使って、最もふさわしい文を作りなさい。
鮮花 办公桌 都 着 上 束 张 有 放 一 几
- 問2. 次の文は、文中のどこに入れるのにふさわしいか、前の文の終わり4文字と後の文の始まり4文字を書きなさい。(いずれも句読点を含まない。)
他简直不敢相信自己的眼睛，连忙又将黑板上的字读了两遍，终于确信这花是可以拿回家的。
- 問3. (イ)に入る語として最もふさわしいものを一つ選びなさい。
a. 尽管 b. 不管 c. 究竟 d. 到底
- 問4. 下線部(ウ)が指すことは何か、日本語で答えなさい。
- 問5. 下線部(エ)はこの文章ではどういうことか、日本語で説明しなさい。
- 問6. 下線部(オ)を日本語に訳しなさい。
- 問7. 下線部(a)～(e)の漢字をピンインに、ピンインを漢字(簡体字)に直しなさい。

2024年度 お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻・日本語日本文学コース

（入試区分） 一般入試

（科目区分） 専門試験

試験日： 2024年 2月 5日（月）

試験時間： 11時0分 ～ 13時0分

試験問題 A

【注意事項】

- 1 一般受験生は、この試験問題 A について解答すること。
- 2 答案用紙それぞれに、受験番号・氏名を記し、各問は所定の用紙にそれぞれ解答せよ。

2024年度 人間文化創成科学研究科博士前期課程

比較社会文化学専攻日本語日本文学コース 専門試験問題A (一般入試用)

I 次の①・②のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本文学を専門とすることを希望する者は①を、日本語学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。また、選択した問題番号を答案用紙に記すこと。

- ① 日本文学の中で、「年中行事」はどのように描かれているか。複数の時代の作品から例を挙げつつ論ぜよ。
② 声点について、自身の知るところを述べよ。通時的に広く見渡し、資料名を挙げながら説明すること。

II 次の①～⑩の事項のうち、任意の六個を選び、簡潔に説明せよ。選択した問題の番号を、答案用紙の□に記入すること。六個を超えて解答した場合は、全体を無効とする。

- ① 矢野龍溪 ② 言語変化のS字カーブ ③ ウケヒ ④ 「讀岐典侍日記」
⑤ 「日本大辞書」 ⑥ 「ささめごと」 ⑦ 「国性爺合戦」 ⑧ 「幻影の盾」
⑨ 文芸復興 ⑩ ジョアン・ロドリゲス ⑪ カルチエラル・スタディーズ

III 次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

鎌倉に、町の^{つぼね}局とやらん、聞こえし徳人ありけり。近く使ふ女童、さるべき宿縁やありけむ、念仏を信じて、人目には忍びて、ひそかに^{すげん}教反しけり。この主は、厳しくはしたなき物忌、いはひ事けしからぬ程なり。

正月一日^{かまよ}荷用しけるに、しつけたる事にて、心ならず「南無阿弥陀仏」と申しけるを、この主、なめならず怒り腹立ちて、「A いま、いま、人の死にたるやうに、今日しも念仏申す、返す返す不思議なり」とて、やがて捕らへて、銭を赤く焼きて、片頬に当ててけり。「B 念仏故には、いかなる咎にも当たれ」と思ひて、それに付けてもなほ仏をぞ念じ奉りける。思はずに痛みなかりけり。

さて主、年の初めの勤めなどせんとて、持仏堂に詣でて、本尊の阿弥陀仏の金色の立像を押し奉れば、御頬に銭の形、黒みて見えけり。怪しみてよくよく見るに、金焼きしつる銭の形、この女童が頬の程に当たりて見えけり。^{あさまし}あさましなども言ふばかりなくて、女童を呼びて見るに、いささかも疵なし。主大いに驚きて、慚愧^{あはれ}懺悔して、仏師を呼びて、金箔を押しするに、箔は幾重ねともなく重なれども、疵はすべて隠れず。当時も彼の仏おはします。「金焼き仏」と申しあひたる、くはしく拝みて侍りし。当時彼の疵三角に見え侍る。^{だしか}だしかの事なり。

(『沙石集』による。)

注 ○徳人―資産家。 ○教反―念仏を教多く唱えること。 ○いはひ事―縁起をかつぐこと。
○荷用―給仕。

問一 傍線Aを現代語訳せよ。

問二 傍線Bはどういうことを言っているのか、わかりやすく説明せよ。

問三 傍線Cをわかりやすく訳せ。

問四 傍線Dでは、何が「だしかの事」だと言っているのか、説明せよ。

(問題は二枚目に続く)

(専門試験問題 A、続き)

IV 次の①・②のうち一問を選択し、選んだ問題番号を答案用紙に記した上で解答せよ。ただし、入学後日本古典文学を専門とすることを希望する者は①を、日本近現代文学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。日本語学を専門とすることを希望する者は、①・②のうち任意の一方を選択すること。

① 次の文を、原文通りに、現行の字体に書き改めよ。

まづの川もぐらとてな
かたむらよとてな

② 日本の近現代詩の展開において訳詩集が果たした役割について具体的事例を挙げて論ぜよ。

(専門試験問題 A、以上)

2024年度 お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻・日本語日本文学コース

（入試区分） 留学生入試

（科目区分） 専門試験

試験日： 2024年 2月 5日（月）

試験時間： 11時0分 ～ 13時0分

試験問題 B

【注意事項】

- 1 留学生は、この試験問題 B について解答すること。
- 2 答案用紙それぞれに、受験番号・氏名を記し、各問は所定の用紙にそれぞれ解答せよ。

2024年度 人間文化創成科学研究科博士前期課程

比較社会文化学専攻日本語日本文学コース 専門試験問題B (留学生入試用)

I 次の①・②のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本文学を専門とすることを希望する者は①を、日本語学を専門とすることを希望する者は②を選択すること。また、選択した問題番号を答案用紙に記すこと。

①日本文学の中で、「年中行事」はどのように描かれているか。複数の時代の作品から例を挙げつつ論ぜよ。

②声点について、自身の知るところを述べよ。通時的に広く見渡し、資料名を挙げながら説明すること。

II 次の①～⑩の事項のうち、任意の六個を選び、簡潔に説明せよ。選択した問題の番号を、答案用紙の□に記入すること。六個を超えて解答した場合は、全体を無効とする。

- ①矢野龍溪 ②言語変化のS字カーブ ③ウケヒ ④「讃岐典侍日記」
⑤「日本大辞書」 ⑥「ささめごと」 ⑦「国性箴合戦」 ⑧「幻影の盾」
⑨文芸復興 ⑩ジョアン・ロドリゲス ⑪カルチユラル・スタディーズ

III 次のうち、一問を選択して答えよ。ただし、入学後日本古典文学を専門とすることを希望する者は①を、日本近現代文学を専門とすることを希望する者は②を、日本語学を専門とすることを希望する者は③を選択すること。

①次の文章を読んで問に答えよ。

ある遁世の上人の、学生なるが庵室へ、修行者常に来たる。中にある修行者の云はく、「A法師は生まれてより後、すべて腹を立て候はぬ」と云ふを、上人の云はく、「凡夫は、貪瞋痴の三毒を具せり。たとひ浅深厚薄こそあれ、いかでか腹立ち給はざらむ。B處にあはぬ時こそ立たぬ、また立つを覚え給はぬか。聖人にておはしまさば、さもあるべし。凡夫ながらかく宣ふ、虚事と覚ゆるなり」と云へば、「立たぬと云はば、立たぬにておはしませかし。人を虚事の者になし給ふは、いかにとて候ふぞ」と、顔を赤めて、首をねぢて叱りければ、「Cさては、さこそは」とてやみけり。Dをこそがましく侍り。凡夫の習ひ、我が非は覚えぬとこそ。

(『沙石集』による。)

注 ○貪瞋痴の三毒―貪欲、瞋恚、愚痴という三種の煩惱。

問一 傍線Aは、誰のことを指して言っているのか答えよ。

問二 傍線Bとはどのようなことか、説明せよ。

問三 傍線Cを、省略されている語を補って現代語訳せよ。

問四 傍線Dは、どのようなことに対して言っているのか、説明せよ。

②日本の近現代詩の展開において訳詩集が果たした役割について具体的事例を挙げて論ぜよ。

③文法化という例について、日本語の例を挙げながら説明せよ。例は現代語・古典語のどちらでもよい。

(専門試験問題B、以上)

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 アジア言語文化学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日 : 2024年2月5日(月)

試 験 時 間 : 11時00分～13時00分

【注意事項】

1. 監督者の「はじめ」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙の解答番号欄にⅠ、Ⅱ、Ⅲを記入して解答すること。

問1. 次の事項について、あなたの知るところを述べなさい。

- (1) 香草美人
- (2) 古鏡記
- (3) 永嘉四靈
- (4) 詩必盛唐
- (5) 経史子集

問2. 次の詩を読んで、(1)～(3)に答えなさい。

①沈宋横馳翰墨場、風流初不廢②齊梁。論功若準平吳例、合著黄金鑄子昂。

(元好問「論詩絶句三十首」その八)

- (1) 下線部①に言及される「沈宋」の氏名を記しなさい。
- (2) 下線部②に言及される「齊梁」について、簡単に述べなさい。
- (3) 「論功若準平吳例、合著黄金鑄子昂」を踏まえ、古典文学史における陳子昂の位置づけ・功績などを述べなさい。

II 以下の文章を読み、後の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

（胡承佼《現代汉语意外范畴研究》より一部改変して用いる）

問1. 下線部（あ）と下線部（い）は対照的な意味で使われている。この文章におけるそれぞれの意味について、意味論の考え方を踏まえて日本語で述べなさい。

問2. 次の(A)(B)(C)(D)の“倒好”は、①“倒好₁”、②“倒好₂”、③どちらでもない、

のどれか。本文の内容を踏まえ、理由を日本語で述べなさい。

(A) 人家说，千做万做，折本生意不做。红卫倒好，专做折本生意。这么会呢？原来，每有工程，徐（红卫）都想做成样板，无论是用料、还是用工，都往好里做……

(B) 因为棍棍面比较难煮，面条快熟的时候扔青菜进去，碗里事先倒好酱油，盐，味精，煮好面条盛出，……

(C) “这样吧，你先回去。明天我们这里有消息再通知你。你最好到总局去查查，要是已经送进病院倒好了。你放心，那里反正有医生护士照料，出不了事的。”

(D) 我在友谊厂时茶缸子就放在工作台边，想喝就喝，这可倒好，个人东西不准带进车间。

Ⅲ 次の文を読んで、以下の問いに答えよ。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(莫言『紅高粱』より)

問1. この文章の表現上の特徴を、できるだけ詳細に分析せよ。

問2. 以下の語句について、知るところを述べなさい。

(1) 鴛鴦胡蝶派

(2) 沈從文

(3) 文芸講話

(4) 閻連科

(5) 胡適

2024 年度 お茶の水女子大学大学院

人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学専攻 英語圏・仏語圏言語文化学コース

英語圏言語文化専修 専門試験問題

試験日：2024 年 2 月 5 日（月）

試験時間：11 時 00 分～13 時 00 分

【注意事項】

1. 解答はすべて答案用紙に記入すること。
2. 答案用紙は問題番号 **1** から **4** のそれぞれに用意されています。用紙を間違えずに解答を記入すること。

1 次の英文を読み、下線部 (1)、(2) を和訳しなさい

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

(Adapted from George Lakoff, *Moral Politics: How Liberals and
Conservatives Think*, 2002)

2 The saying 'blood is thicker than water' emphasizes the importance of family over other people. Discuss this statement considering both family and society in about 250 words.

3 次の各項目のうち6項目を選んで、日本語で簡潔に説明しなさい。答案用紙の（ ）内に、解答する項目の番号を記入すること。

- (1) *The Tempest*
- (2) epistolary novels
- (3) Matthew Arnold
- (4) Caryl Churchill
- (5) Langston Hughes
- (6) *Cat on a Hot Tin Roof*
- (7) Djuna Barnes
- (8) the American Jeremiad
- (9) content words vs. function words
- (10) genericity
- (11) inflectional paradigm
- (12) proforms
- (13) children's acquisition of quantifier scope
- (14) cross-linguistic influence

4 次のテーマの中から1つを選んで、日本語で800字以内の小論文を書きなさい。答案用紙の（ ）内に、選んだテーマの番号を記入すること。

- (1) Nature in English Literature
- (2) Motherhood in English Literature
- (3) Social Darwinism and American Literature
- (4) The Civil War and American Literature
- (5) Presupposition and Entailment
- (6) Subcategorization and Selection
- (7) Innate Linguistic Knowledge in First Language Acquisition
- (8) World Englishes and Language Teaching

2024 年度

お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科
博士前期課程

比較社会文化学専攻
日本語教育コース

専門試験

問題用紙

(この問題用紙は、試験終了後持ち帰っても構いません。)

解答は全て答案用紙(別添)の該当する箇所に記入すること

全3ページ(表紙を含む)

1. 以下の(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の五つの問題の中から三問を選び、答えなさい。
三問より多く選んではいけません。(20点×3)
- (1) 認知意味論的観点からの多義語研究においてジョージ・レイコフ (George Lakoff) の果たしてきた役割は極めて大きい。しかしながらその後、その分析手法などの点で限界が指摘されていることも事実である。彼の果たしてきた寄与とその限界について簡単に説明しなさい。また限界についてはその後の研究でどのような対応がなされたのかについて説明しなさい。
- (2) 学習者の誤用に対しては、リキャスト、プロンプト、どちらのタイプの訂正フィードバックがより効果的か、第二言語習得研究における知見をまとめなさい。次に、それらの知見を踏まえた上で、日本語教育現場では、学習者の誤用に対してどのように訂正フィードバックを行うべきか、あなた自身の考えを論じなさい。
- (3) 学習者オートノミーとは何かを説明し、次に学習者オートノミーの育成に繋がる学習環境とはどのようなものであるかを論じなさい。そして、教師が学習者オートノミーの育成のために果たせる役割を論じなさい。
- (4) 最近、外国人住民向けの「やさしい日本語」が注目されつつある。「やさしい日本語」とは何かを説明し、社会言語学の視点から「やさしい日本語」の可能性と課題を論じなさい。
- (5) 近年、日本語教育研究では、質的研究が占める割合が高くなりつつある。質的研究の隆盛の背景を述べた上で、その認識論的・方法論的特徴と、それが日本語教育研究において有する意義を、量的研究と比較しながら論じなさい。

2. 以下の(1)～(10)の用語の中から五つを選び、簡潔に説明しなさい。
五つより多く選んではいけません。(8点×5)

- (1) (言語の)恣意性と類像性
- (2) BICS と CALP
- (3) モニターモデル(Monitor Model)
- (4) MLAT
- (5) アスペクト仮説 (Aspect Hypothesis)
- (6) 発話のための思考 (Thinking-for-speaking)
- (7) 精密コード (elaborated code) と制限コード (restricted code)
- (8) ダイグロシア (diglossia)
- (9) JF スタandard
- (10) 社会文化理論 (Sociocultural Theory)

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 思想文化学 コース

一般入試・外国人留学生入試
専 門 試 験

試 験 日 : 2024年2月5日(月)

試 験 時 間 : 11時 00分 ~ 13時 00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 哲学か倫理学か、入学願書で選択した分野の問題に解答すること。

2024 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
思想文化学コース 専門試験

（哲学）

次の2つの間に答えなさい。なお、問ごとに答案用紙を分けること。

問1

言語と思考のかかわりについて、哲学史における議論を踏まえて自分の考えを自由に論じなさい。

問2

次の用語の中から2つを選び、解説しなさい。

福音書 ショーペンハウアー 密教 身体 歴史 知識

2024 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
思想文化学コース 専門試験

（倫理学）

次の2つの間に答えなさい。なお、問ごとに答案用紙を分けること。

問1

徳について、倫理的・倫理思想史的観点から論じなさい。

問2

次の用語の中から2つを選び、解説しなさい。

福音書 ショーペンハウアー 密教 身体 歴史 知識

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

比較社会文化学 専攻・ 歴史文化学 コース

一般入試

日本史・専門科目試験

試験日： 2024年 2月 5日(月)

試験時間： 11時00分～13時00分

【注意事項】

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
- 2 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
- 3 答案用紙二枚にはいずれも答えを縦書きにし、(一)については一枚、
(二)については解答する問題ごとに一枚使うこと。
それぞれ裏面まで使ってよい。
- 4 (二)の問題を選択するにあたっては、受験者自身が専攻を希望する時代の問題を、
少なくとも1つは含めること。

2024年度 大学院入学試験問題 (日本史)

〔二〕 次の項目から三項目を選んで、それぞれの歴史的意義を考慮しつつ、知るところを記しなさい。ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三〜五行程度を目安に記述すること。

(1) 御堂関白記

(2) 足利義輝

(3) 山東京伝

(4) 富岡製糸場

〔二〕次の四題のうち、二題を選んで解答しなさい。

(1) 次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

太政官謹奏

応_レ賜_二無品親王・内親王_一*食封_二事

右奉_レ勅_一、件封戸_②大同三年十月十九日論奏云、一品已下食封并四位位祿等、並抛_レ令_レ訖。但先經_二恩賜_一更不_二取返_一。其加階進級之日、即便廻給各得_二其所_一。又_③大同三年六月廿九日式云、無品親王食封二百戸、男女並同。但叙品之後_二從_一停止_二者、今檢_二奏意_一、無品内親王叙_二四品_一之日、封邑二百五十戸。然則無品之日其封二百戸。叙品之時還失_二五十戸_一。事之所在、_④良不_二穩便_一。宜_二議定奏聞_一者。謹依_二勅旨_一商量、件封戸大同三年論奏、_⑤依_レ令已訖。然則女者良宜_二半減_一。内親王准_レ令半_レ之。其先經_二恩賜_一、復抛_二論奏_一更不_二取返_一。謹録_二事狀_一。伏聽_二天裁_一。謹以申聞。謹奏。_⑥奉_レ勅、依_レ奏。

大同四年六月廿三日

(『類聚三代格』大同四年(八〇九)六月二十三日太政官謹奏)

*食封 皇親や諸臣に俸祿として、位階や官職に応じた封戸を与える制度。慶雲三年(七〇六)の変更で、令制よりも支給額や範囲が拡大されていた。

- 問1 波線部⑦()をすべてひらがなで書き下しなさい。
- 問2 傍線部①()③の内容はどこからどこまでか。それぞれの内容の終わりの三字(句読点は除く)を抜き出しなさい。
- 問3 (1)傍線部①の勅で問題とされていることは何か。また、(2)勅による問題提起を受けた太政官の議定で出された解決策は何か。それぞれの内容を説明しなさい。

- (2) 正長元年(一四二八)七月、伊勢国で北畠満雅が室町幕府に対して反乱を起こした。これを受けて、室町幕府将軍足利義教はある決定を下した。次に掲げた史料は、その決定の内容が分かる史料である。これを読み、以下の問いに答えなさい。

十八日、〈晴〉 今日参室町殿、勢州守護職事、聊被仰談子細在之、
管領与奪土岐刑部少輔〈前守護也〉 条可宣旨也、此子細、以密
々儀申遣管領了、(後略)

十九日、〈晴〉 今日勢州守護職事可与奪土岐刑部少輔持頼之条、
旁宜被思食由、以畠山修理大夫・細河讚岐入道兩人被仰遣管領也、
上意之趣ハ、管領勢雖一人只今可被分遣之条不可然被思食也、第
一此儀計之由被仰出了、管領御返事、已可被向弓矢事間、就難儀
与奪他人様二天下者共可令存知条於身難儀也、平二今時分被聞者
可畏入云々、重仰云、申旨雖尤、以前如被仰出、管領勢二於了付
御心安可被置御膝下也、仍一騎モ不可被散、以別儀可与奪云々、
重御返事、此仰上者不及是非也、可罷随仰云々、重又被仰出旨、
領掌之条御本意此事也、為彼国替地山城国并御料所河内国橘島事
可知行云々、畏入之由御返事申了、

出典：『滿濟准后日記』(『統群書類從』補遺二) 正長元年七月一八日条および同一九日条。山拓弧(◇)
は割書を示す。なお、旧字体は新字体に適宜改めた。

註：管領：畠山満家。管領兼伊勢守護。

土岐刑部少輔：世保持頼。

畠山修理大夫：畠山満慶。

細河讚岐入道：細川満久。

- 問 1 右の史料における傍線部イ「与奪」の意味を、簡単に説明しなさい。
- 問 2 傍線部ロを全文ひらがなで読み下しなさい。
- 問 3 傍線部ハ「上意」の内容について、「上意」が誰の意志であるのかを明示した上で、
言葉を補って説明しなさい。
- 問 4 傍線部ニ「管領御返事」の内容について、説明しなさい。
- 問 5 傍線部ホ「重仰」の内容について、説明しなさい。
- 問 6 右の史料における傍線部ヘ「御料所」の意味を、簡単に説明しなさい。

(3) 次の史料を読み、以下の問いに答えなさい。

作恐返答

青山因幡守殿領分
 讃州武庫郡川面村
 次郎右衛門
 同村 権兵衛
 同村 新右衛門
 同村 久右衛門
 同村 庄屋
 年寄 半左衛門
 年寄 中左衛門
 同断 善兵衛
 阿部飛騨守様御領分
 同国川辺郡小浜町
 年寄 与右衛門
 訴訟人 馬借 元次郎

一先月廿五日ニ右小浜町年寄与右衛門、同所馬借元次郎より御訴訟被申上御裏御印頂戴仕、今日御召被為仰付承知仕奉畏候、然ル処私共其外村之内人々作り立候糶種五斗・三斗・七斗程宛俵数ニ入相、石数合六石次郎右衛門口入仕中筋村新兵衛と申者ニ元、則代銀請取候様ニと先月廿日私共持牛ニ附ケ参り候所、小浜村平兵衛・徳兵衛と申兩人馳り来り、中山寺村ニ而理不尽ニ切おろし候ニ付、往古より通り来り外人も通り候故相通り申候、若馬借所之差幣ニ相成候様ハ、向後通り申間敷候間、此荷物相渡シくれられ候様段々申入候得共、何角と六ヶ敷被申相渡くれ不申迷惑仕候、作恐私共より御訴訟可奉申上所、却而御訴訟被申上候義驚奉恐入候、右道筋之儀ハ往古より通り来り候義紛無御座候、先年も米谷村領之内六軒茶屋と申所道筋通行悪敷御座候ニ付、米谷村へ相達シ候而川面村より違作り仕候義只今ニ至り其証跡も在之候御事、然ル所ニ終ニ馬借所放道無用之違筋と申義も不被申聞無理ニ差留被申候而、人々御年貢未進又千餉代當時飯米代等ニ心当ニ仕罷有候所、差当テ糶義至極仕候、猶又次郎右衛門儀奥筋より出候米穀其外何ニよらず買込、村方之牛持と申合自分勝手ニ小浜宿へ不相通拔道仕候旨被申上候得共、次郎右衛門糶米五石と買置候程之商売ハ不仕候、勿論小浜村へ出テ参り候米糶其外何ニよらず買集候自力無御座候義ハ小浜村之人々も能存知居申候、殊ニ当村牛

之儀ハ老定を三、四人程宛相合所持仕罷有候ハ、駄賃荷物附候義曾而無御座候、漸村之内人々作り出し之糶穀類附申計ニ御座候、然ハ小浜役馬之指構ニ相成申義少も無御座候、勿論只今小浜町中ニ老定も馬所持仕候人無之候、川面村ニハ少々馬持も御座候、然ル所公事を六ヶ敷工ミ出入ニ被取結候、前々ハ小浜村ニ馬差老人ニ而駄賃付ケ之荷物計ニ口銭を取居申候所、近年ハ元次郎・九郎兵衛・平兵衛・半兵衛三、四人相懸り百姓之作り出自身之糶穀、木柴等ニ至迄口銭取候段、近村之者共甚難儀仕候御事ニ御座候、然共私共ハ隣村之儀不和ニ御座候而諸事不勝手多候故、和睦仕度候得共何分六ヶ敷申出入被取結、千万迷惑至極奉恐入候御事

右之趣作恐被為 聞召上、右差留置候糶種式石・米老石以上三石忽々相渡シくれ候様奉願上候、猶又違筋往来之儀古来より之通百姓之作り出シ端々荷物并木柴等ニハ口銭取不申候様ニ被為 仰付被為下候ハ、御慈悲難有御義奉存候、以上

宝曆八年寅六月廿五日

川面村
 次郎右衛門
 同 権兵衛
 同 新右衛門
 同 久右衛門
 同村 庄屋
 年寄 半左衛門
 年寄 中左衛門
 同断 善兵衛

御奉行様

問 1 五月二十日から六月二十五日に至るまで、どのようなことがあったか。事件から訴訟までの経緯に着目して、簡潔に整理しなさい。

問 2 小浜町の年寄・馬借の訴状にはどのようなことが書いてあったと思われるか。その箇所を「」で抜き出して示したうえ（長文にわたる場合は、始めの二文字と終わりの十文字を示せば中略してよい）、口語訳を付けなさい（口語訳は中略部分も含めて、抜き出した箇所の全部について付けること）。

例：「近年（中略）御米被下置候様奉願旨」近年はなはだ困窮している
のでお米を下し置かれるよう願う旨

問 3 問 2 であげた点について、川面村側はどのように主張しているか。具体的に述べなさい。

問 4 この史料を通じて、最終的に川面村側はどのようなことを主張しているか。具体的に述べなさい。

問 5 傍線部 a と b を読み下し、ともにすべて「ひらがな」で記しなさい。

(4) 次の各史料を読んで、以下の問いに答えなさい(史料中、句読点等その一部を改変した)。

【史料1】一九四五年一月一日、清沢冽の日記

①日本国民は、今、初めて「戦争」を経験している。戦争は文化の母だとか、「百年戦争」だとかいって戦争を讚美してきたのは長いことだった。僕が迫害されたのは「反戦主義」だという理由からであった。戦争は、そんなに遊山に行くようなものなのか。それを今、彼等は味〔む〕っているのだ。だが、それでも彼等が、ほんとに戦争に懲りるかどうかは疑問だ。結果はむしろ反対なのではないかと思う。彼等は第一、戦争は不可避なものだと考えている。第二に彼等は戦争の英雄的であることに酔う。第三に彼等に国際的知識がない。知識の欠乏は驚くべきものがある。当分は戦争を嫌う気持ちが起ころうから、その間に正しい教育をしなくてはならぬ。それから婦人の地位をあげることも必要だ。

日本で最大の不自由は、国際問題において、相手の立場を説明することができない一事だ。日本には自分の立場しかない。この心的態度をかえる教育をしなければ、日本は断じて世界一等国となることはできぬ。総べての問題はここから出発しなくてはならぬ。

日本が、どうぞして健全に進歩するように――それが心から願望される。この国に生れ、この国に死に、子々孫々もまた同じ運命を迎えるのだ。いままでのように、蛮力が国家を偉大にするというような考え方を捨て、明智のみがこの国を救うものであることをこの国民が覚るように――。「仇討ち思想」が、国民の再起の動力になるようではこの国民に見込みはない。

僕は文筆的余生を、②国民の考え方転換のために捧げるであろう。(中略)後世を目標けて努力しよう。

(清沢冽『暗黒日記』評論社、一九九五年、五〇九頁)

【史料2】一九四七年、尾崎行雄の著書

明治の王政維新は少数の勤王志士でやりとげたが、今度の③民政維新は、国民総がかりでやらねば成就しない。(中略)多年封建政治の圧制になれて、命ただこれしたがう奴隷的習性かんに養われたわが国民に批判的精神が欠けているのは当然であろう。日本人の責任回避の習性は、上からの命令や指令をうのみにした結果、養成せられたのではあるまいか。もし上からの命令や指令を批判して、なつとくづくで服従したのなら、自己の行為に対して責任を感じるのが当然である。これに反し、絶対に批判を許さず服従を強制せられた場合は、それがどんな結果を生じようとも責任感が生じないのもまた当然であろう。(中略)民政維新にもつとも必要なのは批判的精神である。上からの命令や指令をうのみにして盲動するような国民では、とても民政維新を成就することはできない。行動する前に先ず批判せよ。それが誰からの命令、指令であろうとも、一度自分の良心のふるいにかけて、しかる後に行動する。そして、その行動に対しては、どこまでも責任をとる覚悟をもつた人々によつてのみ、民政維新の大事業はなしとげられるのである。

(尾崎行雄『民主政治読本』日本評論社、一九四七年、六五―六八頁)

- 問1 傍線部①「日本国民は、今、初めて「戦争」を経験している」とはどういう意味か。具体的に説明しなさい。
- 問2 傍線部②「国民の考え方転換」とあるが、清沢はなぜそれが必要だと考えているのか。史料1の内容と当時までの社会情勢をふまえて、具体的に説明しなさい。
- 問3 傍線部③「民政維新」とはどのようなものだと考えられるか。史料2の内容と当時までの社会情勢をふまえて、具体的に説明しなさい。
- 問4 史料1、2全体をふまえて、どのようなことが考えられるか。自己の見解を述べなさい。

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科 (博士前期課程)

比較社会文化学 専攻・ 歴史文化学 コース

外国人留学生用
日本史・専門科目試験

試験日: 2024年 2月 5日(月)

試験時間: 11時00分～13時00分

【注意事項】

- 1 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
- 2 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
- 3 受験者自身が専攻を希望する時代(近世史もしくは近代史)の問題を選択し、その時代の問題〔一〕〔二〕の両方に解答すること。
- 4 答案用紙二枚にはいずれも答えを縦書きにし、〔一〕について一枚、〔二〕について一枚使うこと。
それぞれ裏面まで使ってよい。

(近世史)

〔二〕 次の項目について、それぞれの歴史的意義を顧慮しつつ、知るところを記しなさい。
ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三〜五行程度を目安に記述すること。

(1) 山東京伝

(2) 西廻り航路

(二) 次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

乍恐返答

青山因幡守殿領分
 鞆州武庫郡川面村
 次郎右衛門
 同村 権兵衛
 同村 新右衛門
 同村 久右衛門
 同村 庄屋
 年寄 半左衛門
 年寄 中左衛門
 同断 善兵衛
 阿部飛騨守殿領分
 同国川辺郡小浜町
 年寄 与右衛門
 訴訟人 馬借 元次郎

一 先月廿五日ニ右小浜町年寄与右衛門・同所馬借元次郎より御訴訟被申上御莫御印頂戴仕、今日御召被為仰付承知仕奉畏候、然ル処私共其外村之内人々作り立候糶種五斗・三斗・七斗程宛依敷ニ入相、石敷合六石次郎右衛門口入仕中筋村新兵衛と申者ニ宛、則代銀請取候様ニと先月廿日私共持牛ニ附ケ参り候所、小浜村平兵衛・徳兵衛と申兩人馳り来り、中山寺村ニ而理不尽ニ切おろし候ニ付、往古より通り来り外人も通り候故相通り申候、若馬借所之差儀ニ相成候様段々申入候得共、何角之六ヶ敷被申相渡くれ不申迷惑仕候、乍恐私共より御訴訟司奉申上所、却而御訴訟被申上候義驚奉恐入候、右道筋之儀ハ往古より通り来り候義紛無御座候、先年も米谷村領之内六軒茶屋と申所道筋通行憑敷御座候ニ付、米谷村へ相達シ候而川面村より道作り仕候義只今ニ至り其証跡も在之候御事、然ル所ニ終ニ馬借所故道無用之遺筋と申義も不被申聞無理ニ差留被申候而、人々御年貢未進又干觸代当時飯米代等ニ心当ニ仕罷有候所、差当テ糶糶至極仕候、猶又次郎右衛門儀奥筋より出候米糶其外何ニよらす買込、村方之牛持と申合自分勝手ニ小浜宿へ不相通拔道仕候旨被申上候得共、次郎右衛門糶米五石と買込候程之糶売ハ不仕候、勿論小浜村へ出テ参り候米糶其外何ニよらす買集候自力無御座候義ハ小浜村之人々も能存知居申候、殊ニ当村牛

之儀ハ糶疋を三、四人程宛相合所持仕罷有候へハ、駄賃荷物附候義曾而無御座候、漸村之内人々作り出し之糶穀類附申計ニ御座候、然ハ小浜役馬之指構ニ相成申義少も無御座候、勿論只今小浜町中ニ糶疋も馬所持仕候人無之候、川面村ニハ少々馬持も御座候、然ル所公事を六ヶ敷工ミ出入ニ被取結候、前々ハ小浜村ニ馬差老人ニ而駄賃付ケ之荷物計ニ口銭を取居申候所、近年ハ元次郎・九郎兵衛・平兵衛・半兵衛三、四人相懸り百姓之作り出自身之糶穀・木柴等ニ至迄口銭取候段、近村之者共甚難済仕候御事ニ御座候、然共私共ハ隣村之儀不和ニ御座候而諸事不勝手多候故、和睦仕度候得共同分六ヶ敷申出入被取結、千万迷惑至極奉恐入候御事

右之趣乍恐被為 聞召上、右差留置候糶種武石、米糶石以上三石急々相渡シくれ候様奉願上候、猶又道筋往來之儀古来より之通百姓之作り出シ端々荷物并木柴等ニハ口銭取不申候様ニ被為 仰付被為下候へハ、御慈悲難有御義奉存候、以上

宝曆八年寅六月廿五日

川面村
 次郎右衛門
 同 権兵衛
 同 新右衛門
 同 久右衛門
 同村庄屋
 年寄 半左衛門
 年寄 中左衛門
 同断 善兵衛

御奉行様

問1 五月二十日から六月二十五日に至るまで、どのようなことがあったか。事件から訴訟までの経緯に着目して、簡潔に整理しなさい。

問2 小浜町の年寄・馬借の訴状にはどのようなことが書いてあったと思われるか。その箇所を「」で抜き出して示したうえ（長文にわたる場合は、始めの二文字と終わりの十文字を示せば中略してよい）、口語訳を付けなさい（口語訳は中略部分も含めて、抜き出した箇所の全部について付けること）。

例：「近年（中略）御米被下置候様奉願旨」近年はなはだ困窮している
のでお米を下し置かれるようお願いする旨

問3 問2であげた点について、川面村側はどのように主張しているか。具体的に述べなさい。

問4 この史料を通じて、最終的に川面村側はどのようなことを主張しているか。具体的に述べなさい。

問5 傍線部 a と b を読み下し、ともにすべて「ひらがな」で記しなさい。

(近代史)

(二) 次の項目について、それぞれの歴史的意義を顧慮しつつ、知るところを記しなさい。
ただし、解答は一つの用語につき、答案用紙の三〜五行程度を目安に記述すること。

(1) 富岡製糸場

(2) 吉田茂

〔二〕次の各史料を読んで、以下の問いに答えなさい（史料中、句読点等その一部を改変した）。

【史料1】一九四五年一月一日、清沢冽の日記

①日本国民は、今、初めて「戦争」を経験している。戦争は文化の母だとか、「百年戦争」だとかいって戦争を讃美してきたのは長いことだった。僕が迫害されたのは「反戦主義」だという理由からであった。戦争は、そんなに遊山に行くようなものなのか。それを今、彼等は味〔む〕っているのだ。だが、それでも彼等が、ほんとに戦争に懲りるかどうかは疑問だ。結果はむしろ反対なのではないかと思う。彼等は第一、戦争は不可避なものだと考えている。第二に彼等は戦争の英雄的であることに酔う。第三に彼等に国際的知識がない。知識の欠乏は驚くべきものがある。当分は戦争を嫌う気持ちが起ろうから、その間に正しい教育をしなくてはならぬ。それから婦人の地位をあげることも必要だ。

日本で最大の不自由は、国際問題において、相手の立場を説明することができない一事だ。日本には自分の立場しかない。この心的態度をかえる教育をしなければ、日本は断じて世界一等国となることはできぬ。総べての問題はここから出発しなくてはならぬ。

日本が、どうぞして健全に進歩するように――それが心から願望される。この国に生れ、この国に死に、子々孫々もまた同じ運命を迎えるのだ。いままでのように、蛮力が国家を偉大にするというような考え方を捨て、明智のみがこの国を救うものであることをこの国民が覚るように――。「仇討ち思想」が、国民の再起の動力になるようではこの国民に見込みはない。

僕は文筆的余生を、②国民の考え方転換のために捧げるであろう。（中略）後世を目標けて努力しよう。

（清沢冽『暗黒日記』評論社、一九五五年、五〇九頁）

【史料2】一九四七年、尾崎行雄の著書

明治の王政維新は少数の勤王志士でやりとげたが、今度の③民政維新は、国民総がかりでやらねば成就しない。（中略）多年封建政治の圧制になれて、命ただこれしたがう奴隷的習性かんに養われたわが国民に批判的精神が欠けているのは当然であろう。日本人の責任回避の習性は、上からの命令や指令をうのみにした結果、養成せられたのではあるまいか。もし上からの命令や指令を批判して、なつとくづくで服従したのなら、自己の行為に対して責任を感じるのが当然である。これに反し、絶対に批判を許さず服従を強制せられた場合は、それがどんな結果を生じようとも責任感が生じないのもまた当然であろう。（中略）民政維新にもつとも必要なものは批判的精神である。上からの命令や指令をうのみにして盲動するような国民では、とても民政維新を成就することはできない。行動する前に先ず批判せよ。それが誰からの命令、指令であろうとも、一度自分の良心のふるいにかけて、しかる後に行動する。そして、その行動に対しては、どこまでも責任をとる覚悟をもつた人々によつてのみ、民政維新の大事業はなしとげられるのである。

（尾崎行雄『民主政治読本』日本評論社、一九四七年、六五―六八頁）

- 問1 傍線部①「日本国民は、今、初めて「戦争」を経験している」とはどういう意味か。具体的に説明しなさい。
- 問2 傍線部②「国民の考え方転換」とあるが、清沢はなぜそれが必要だと考えているのか。史料1の内容と当時までの社会情勢をふまえて、具体的に説明しなさい。
- 問3 傍線部③「民政維新」とはどのようなものだと考えられるか。史料2の内容と当時までの社会情勢をふまえて、具体的に説明しなさい。
- 問4 史料1、2全体をふまえて、どのようなことが考えられるか。自己の見解を述べなさい。

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 歴史文化学 コース

（ 一 般 入 試 ）
（西洋史・専門試験問題）

試 験 日 ： 2024 年 2 月 5 日(月)

試 験 時 間 ： 11時 00分 ～ 13時 00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問1、問2、問3、それぞれに答案用紙1枚を使用すること(計3枚)。

問1 次の英文を読み、以下の(1)～(8)の質問に答えなさい。なお * のついた語には文末に注があります。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：Edward Muir, *Ritual in Early Modern Europe*, Cambridge(UK), Cambridge University Press, 1997. (出題に際し一部改変)

rouse 呼び起こす intimation 暗示、示唆 delirium 精神錯乱 dismantle 廃棄・廃止する
flock 会衆、信徒集団 ebbing 徐々に衰えること accoutrements 付属物
pathological 病的な callous 冷淡な exhumations (亡骸の)掘り出し revulsion 嫌悪感

- (1) 下線部①の人物について、知るところを述べなさい。
- (2) 下線部②を和訳しなさい。
- (3) 下線部③を和訳しなさい。
- (4) 下線部④は有名な歴史家である。代表的な著作を挙げ、知るところを記しなさい。
- (5) 下線部⑤について、具体的に説明しなさい。
- (6) 下線部⑥を和訳しなさい。
- (7) 下線部⑦の人物について、知るところを述べなさい。
- (8) 下線部⑧について、当事の人々の死に対する態度は、我々のそれとどのように異なっているか、本文に即して説明しなさい。

問2 18世紀後半とはどのような時代であったと捉えることができるだろうか。時代の特徴をさまざまな角度から俯瞰的に論じなさい。

問3 次の語句のうち、4つを選んでできるだけ詳しく説明しなさい。

- (1) ディオクレティアヌス帝
- (2) モンテ・カッシーノ修道院
- (3) レパントの海戦
- (4) 入市式
- (5) カール・マルクス
- (6) 不戦条約（ケログ＝ブリアン協定）

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 歴史文化学 コース

（一般入試・外国人留学生入試）
（美術史・専門試験）

試験日： 2024年2月5日(月)

試験時間： 11時00分～13時00分

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで問題を開けないこと。
2. 解答は問題毎にそれぞれ別の答案用紙に解答すること。

2024 年度 比較社会文化学専攻

歴史文化学コース 美術史専門試験問題

解答は指定された答案用紙に記入すること。

〔問題 1〕

A, B 両群の語句、人名について、各群合わせて5項目（ただし西洋美術史専攻希望のものはA群から3項目、B群から2項目、また東洋、日本美術史専攻希望のものはA群から2項目、B群から3項目）選択し、それぞれ美術史的な立場から簡潔に説明しなさい。

- A群：1. キュビズム (キュビズム)
2. 《ラス・メニーナス》
3. ローザ・ボヌール
4. バイユの刺繍布 (バイユのタピスリー)

- B群：1. 九品来迎
2. 「明恵上人樹上坐禅像」
3. 菱川師宣
4. 高台寺蒔絵

〔問題 2〕

日本・東洋美術における「コレクション」について、具体的な作品等を挙げながら美術史的に論じなさい。

〔問題 3〕

フランス18世紀美術の展開を作例や作者等を交えながら論じなさい。

2024 年度 比較社会文化学専攻

歴史文化学コース 美術史専門試験問題

選択問題ドイツ語

以下の問題は、西洋美術史を志望する者のうちドイツ語を選択する者が
解答しなさい。

〔問題 4〕 次のドイツ語を読んで、全文を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典： Ingrid Pfeiffer und Max Hollein, eds., *Sturm-Frauen, Künstlerinnen der
Avantgarde in Berlin 1910-1932*, Frankfurt, Schirn Kunsthalle, 2015)

2024 年度 比較社会文化学専攻
歴史文化学コース 美術史専門試験問題
選択問題フランス語

以下の問題は、西洋美術史を志望する者のうちフランス語を選択する者が解答しなさい。

〔問題 4〕 次のフランス語を読んで、全文を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

註 collerette ギャザーのついたレースなどの飾り襟、コルレット

(出典： Pierre Sterckx, *Les plus beaux textes de l'histoire de l'art*, Paris, TTM Editions, 2009.)

二〇二四年度 大学院博士前期課程 比較社会文化学専攻

歴史文化学コース 美術史専門試験問題

以下の問題は、日本・東洋美術史専攻を志望する者のみ解答しなさい

〔問題 四〕左記の文章は、『隔莫記』の一部を抜粋したものである。これを読んで設問に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

出典 赤松俊秀 校註『隔莫記 第五』（鹿苑寺、一九六四年）

〔一〕 傍線部を読み下しなさい。

〔二〕 傍線部の内容を現代語で説明しなさい。

〔三〕 傍線部の中にある「三樂」とは誰か答えなさい。

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 生活文化学 コース

（ 一 般 入 試 ）

（ 専 門 試 験 ）

試 験 日 ： 2024 年 2 月 5 日(月)

試 験 時 間 ： 9 時 30 分 ～ 11 時 30 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻 生活文化学コース

2024 年度 2 月入試

専門試験

問 題

次の 4 問の中から 2 問を選択して解答しなさい。答案用紙は設問ごとに 1 枚を使用しなさい。

問 1

20 世紀前半の日本で「二重生活」という生活様式が現れた。すなわち、衣食住などさまざまな分野において、西洋と日本の文物が対比され、位置づけられた。「二重生活」について具体例を説明した上で、この生活様式の意義と問題点について論じなさい。

問 2

小正月について具体例をあげて論じなさい。

問 3

日本近世の小袖意匠にはどのような特徴がみられるか、具体例をあげて論じなさい。

問 4

ヨーロッパの服飾版画が果たした役割について、具体例をあげて論じなさい。

2024年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

比較社会文化学 専攻 ・ 舞踊・表現行動学 コース

（一般・外国人留学生入試）
（専門試験）

試験日 : 2024年2月5日(月)
試験時間 : 9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. それぞれの答案用紙に、必ず解答する問題番号を記入すること。

2024年度お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻 舞踊・表現行動学コース 2月入試
（一般・外国人留学生入試）

【専門試験】

1. 【共通問題】（40点）

舞踊やスポーツの実技指導において、特定の動きのイメージを伝え、技術習得の助けとなる言葉かけの具体的な事例を挙げなさい。また、その言葉による指導によって得られる「学び」や「効果」について、自分の考えを述べなさい。

2. 【選択問題】

以下の（1）～（5）の問題の中から、任意の2題を選択して解答しなさい。解答にあたっては、それぞれ別の答案用紙を用い、答案用紙の解答番号欄に問題番号を必ず記入すること。

（30点×2題＝60点）

（1）スポーツの試合においては競争相手との協同的側面が存在します。この協同的側面について具体例を挙げて説明し、体育の授業でスポーツの競争を取り上げることの教育的価値について論じなさい。

（2）高齢者の健康保持・増進の観点からダンスを行う意義について、フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームという言葉を用いて説明しなさい。

（3）民族舞踊とアイデンティティー（identity）の関係について具体的事例を挙げながら、自分の考えを述べなさい。

（4）特定の芸術思潮と強く結びついているとされる舞踊作品の例と芸術思潮を1組挙げて、振付家名、作品タイトル、初演時期、作品内容について説明した上で、どの点で当該の芸術思潮と結びつきがあるとされているかについて説明しなさい。

（5）幼児教育の場におけるダンスには大きく分けて「型のあるダンス」（既存の動きを一斉に行うダンス）と「型のないダンス」（自発的で自由な表現が行われるダンス）が存在する。これらはそれぞれどのように発育・発達に寄与するかを述べた上で、発育・発達に好ましくない影響を与えたとしたら具体的にどのような状況が想定されるかを説明しなさい。

2024 年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
比較社会文化学専攻・音楽表現学コース

一般入試

外国人留学生入試

専門試験（外国語を含む）

試験日： 2024 年 2 月 5 日（月）

試験時間：9 時 30 分～12 時 00 分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 答案用紙は、【Ⅰ】、【Ⅱ】、【Ⅲ・問 1・問 2】、【Ⅲ・問 3】のそれぞれに 1 枚ずつ使用すること。

【I】 次の10項目から5つを選択し、その番号を記して、それぞれ2～3文程度で簡潔に説明しなさい。

1. ミサ通常文
2. 定旋律 (cantus firmus)
3. 第二の作法 (seconda pratica)
4. ライトモチーフ
5. 不確定性の音楽
6. グイード・アドラー
7. 平家 (平曲)
8. 山田検校
9. 黒御簾音楽
10. ミュージッキング

【Ⅱ】 次の文章は、アルカンジェロ・コレッリのトリオ・ソナタを説明したものです。
英文を読んで、以下の問いに答えなさい。(問題文は原文から一部改変しています)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

注 Archlute リュート族の撥弦楽器。バロック時代に通奏低音やソロ楽器に使用された。

出典 : Burkholder, Peter J.; Palisca, Claude V. 2014. *Norton anthology of western music*. 7th edition. W.W. Norton & Company. p. 682, 689-690.

問1 下線部(1)を適切な日本語に訳しなさい。

問2 下線部(2)について、本文と譜例に即して、日本語で具体的に説明しなさい。

問3 下線部(3)を適切な日本語に訳しなさい。

【Ⅲ】 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。
(問題文は原文から一部改変しています)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

- 注1) 中山晋平 (1887-1952) 大正・昭和期の作曲家
注2) 古賀政男 (1904-1978) 昭和期の作曲家、ギタリスト
注3) 東京音楽学校 (東京藝術大学音楽学部の前身)
注4) 田辺尚雄 (1883-1984) 日本の音楽学者

出典 : Nagahara, Hiromu. 2013. "The censor as critic: Ogawa Chikagorō and popular music censorship in imperial Japan", *In* Hutchinson, R. (Ed.). *Negotiating Censorship in Modern Japan*. Taylor & Francis Group. p. 59-61.

- 問1 下線(4)について、
ア) 適切な日本語に訳しなさい。
イ) the cultural hybridity が指す内容を、本文に即して、詳述しなさい。
- 問2 下線(5)について、本文の内容に即して、簡潔に答えなさい。
- 問3 文化芸術の表現をめぐる自由と規制の問題は、戦時下をはじめ、さまざまな時代や社会において存在しています。具体的な事例を1つ挙げて、簡潔に説明しなさい。
(400字程度～500字以内)